

科目名称	解剖生理学	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	吉岡 進	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】授業概要

准看護師科での授業において既習している科目ではあるが、再度理解を深め、疾病の成り立ちと回復の促進へ繋ぐ科目として設定した。人間が生きるためにバランスよく営まれている生命維持との関連や身体反応の出現のメカニズムの基礎を理解する。

【2】学習目標

1. 人体を形成する基本単位(細胞・組織・器官)について理解する。
2. 各組織の構成要素、組織の構成・種類について理解する。
3. 各器官の生理的役割を理解する。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	解剖生理学を学ぶための基礎知識	講義
2	解剖生理学を学ぶための基礎知識	講義
3	栄養の消化と吸収	講義
4	栄養の消化と吸収	講義
5	呼吸と血液の働き	講義
6	呼吸と血液の働き	講義
7	血液の循環とその調整	講義
8	体液の調節と尿の生成	講義
9	内臓機能の調節	講義
10	内臓機能の調節	講義
11	身体の支持と運動	講義
12	情報の受容と処理	講義
13	身体機能の防御と適応	講義
14	生殖・発生と老化の仕組み	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験で評価する。

【6】教科書

坂井建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学(第11版) 医学書院 2022

【7】参考書

参考書は指定しない

【8】受講生へのメッセージ